

# 令和7年度2月補正予算(案)の概要

## I 予算の規模

	現計予算額	今回補正額	補正後の額	前年同期比
一般会計	160,622,917千円	▲ 22,238,775千円	138,384,142千円	11.0%
特別会計	10,933,021千円	▲ 629,151千円	10,303,870千円	▲ 2.6%
企業会計	22,854,977千円	▲ 2,779,898千円	20,075,079千円	10.9%
合計	194,410,915千円	▲ 25,647,824千円	168,763,091千円	10.1%

## II 歳出予算の事業

### 【能登半島地震及び奥能登豪雨復旧・復興関係経費】

(単位：千円)

- ・ 林地崩壊防止事業費【国補正分】 112,409 (農林水産)  
 国補正に伴う増額  
 [繰越明許費：332,409千円]
- ・ 被災事業者営業再開支援事業費 20,000 (漆器商工)  
 被災事業者営業再開支援事業費の追加  
 (石川県の「営業再開支援事業費補助金」の採択を受けた小規模事業者又は中小企業に対する上乘せ補助)
- ・ 県急傾斜地崩壊対策事業負担金【国補正分】 1,750 (土 木)  
 国補正に伴う増額  
 対象地区：鈴屋地区、谷内地地区  
 [繰越明許費：122,844千円(通常分含む。)]
- ・ 災害関連地域防災がけ崩れ対策事業費【国補正分】 115,070 (土 木)  
 国補正に伴う増額(令和7年8月6日からの大雨によるもの)  
 事業地区：石休場町中江川地区、三井町長沢地区  
 [繰越明許費：405,630千円(通常分含む。)]
- ・ 県港湾事業負担金【国補正分含む】 27,314 (まちづくり推進)  
 国補正に伴う増額  
 物揚場の整備(共同利用施設移転候補地)等

**【通常事業分】**

(単位：千円)

- ・ **病院事業会計費【物価高騰対策】** 19,500 (財 政)  
 物価高騰の影響を受けている市立輪島病院に対し、光熱水費及び燃料費の上昇分の一部を補助  
 [繰越明許費：19,500 千円]
- ・ **水道事業会計費【物価高騰対策】** 1,315 (財 政)  
 令和8年1月から4月使用分(4か月)に係る水道料金免除(基本料金)に対する補填(免除期間の延長 ※当初は令和8年1月から2月使用分(2か月))  
 ※水道事業会計において全契約者(官公署を除く。)の基本料金免除を実施  
 [繰越明許費：1,400 千円]
- ・ **償還元金** 1,405,065 (財 政)  
 繰上償還の実施(将来の公債費負担軽減のため)  
 将来の利息軽減額：約 125,000 千円
- ・ **戸籍住民基本台帳システム費【国補正分】** 5,396 (市 民)  
 戸籍システム及び住民基本台帳システムの改修  
 戸籍の附票等への「旧氏の振り仮名」等の追加  
 [繰越明許費：5,396 千円]
- ・ **障害者自立支援給付費** 47,200 (福 祉)  
 介護給付費、訓練等給付費の追加
- ・ **老人保護措置費** 31,271 (福 祉)  
 養護老人ホームにおける措置人数の増加(67人→84人)による追加

○人事院勧告による人件費への影響額(増額)  
 ≪正規職員≫ 月例給与分：6,882 万円、期末・勤勉手当分：3,124 万円  
 ≪会計年度職員≫ 月例給与分：2,137 万円、期末・勤勉手当分：332 万円

**合 計：1 億 2,475 万円増**

【参考】※一般会計のみ

≪正規職員≫ 月例給与分：4,147 万円、期末・勤勉手当分：1,915 万円  
 ≪会計年度職員≫ 月例給与分：1,321 万円、期末・勤勉手当分：186 万円

**合 計：7,569 万円増**

**Ⅲ 予算の繰越**

繰越明許費 32,386,507 千円

デジタル活用推進事業費ほか 62 件